



## アラーム定義の表示および更新

---

この章では、Cisco Unified Serviceability に表示されるアラーム定義に関するユーザ情報を検索、表示、および作成するための手順について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [アラーム定義の表示、およびユーザ定義記述の追加 \(P.5-2\)](#)
- [システムアラームカタログの説明 \(P.5-3\)](#)
- [関連項目 \(P.5-4\)](#)

## アラーム定義の表示、およびユーザ定義記述の追加

この項では、Cisco Unified Serviceability でアラーム定義を検索および表示する方法について説明します。



### ヒント

Cisco Unity Connection Serviceability では、Cisco Unity Connection アラーム定義を表示できます。Cisco Unity Connection Serviceability では、ユーザ定義の記述をアラーム定義に追加することはできません。

Cisco Unity Connection は、Cisco Unified Serviceability の特定のアラーム定義も使用します。これらのアラーム定義は、Cisco Unified Serviceability で表示する必要があります。表 5-1 でカタログに関連付けられているアラームは、表示目的で使用可能であることに注意してください。

### 手順

**ステップ 1** Cisco Unified Serviceability で、[Alarm] > [Definitions] を選択します。

[Alarm Message Definitions] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [Find alarms where] ドロップダウン リスト ボックスから、定義を表示する対象のカタログを選択します。

**ステップ 3** [Equals] ドロップダウン リスト ボックスからアラーム定義のカタログを選択するか、[Enter Alarm Name] フィールドにアラーム名を入力します。[System Alarm Catalog] オプションのリストについては、表 5-1 を参照してください。[Find] ボタンをクリックします。

選択したアラーム カatalogの定義リストが表示されます。



### ヒント

アラーム定義は複数のページにわたっている場合があります。別のページを選択するには、[Alarm Message Definitions] ウィンドウの下部の該当するナビゲート ボタンをクリックするか、[Page] フィールドにページ番号を入力します。ウィンドウに表示されるアラーム数を変更するには、[Rows per Page] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択します。

**ステップ 4** リストから、アラーム詳細（記述、アラーム重大度など）を表示する対象のアラーム定義のハイパーリンクをクリックします。

[Alarm Information] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 5** アラームに情報を追加する場合は、[User Defined Text] ペインにテキストを入力して、[Save] ボタンをクリックします。



### ヒント

[User Defined Text] ペインから説明を削除するには、[Clear All] ボタンをクリックします。

**ステップ 6** [Alarm Message Definitions] ウィンドウに戻るには、[Related Links] ドロップダウン リスト ボックス から [Back to Find/List Alarms] を選択して、[Go] をクリックします。


### 追加情報

P.5-4 の「関連項目」を参照してください。

## システムアラームカタログの説明

表 5-1 は、システムアラームカタログのアラーム説明を示しています。

表 5-1 システム カタログ

名前	説明
ClusterManagerAlarmCatalog	このアラーム カタログは、Cisco Unity Connection ではサポートされません。
DBAlarmCatalog	すべてのシスコ データベース (aupair) アラーム定義。
DRFAlarmCatalog	すべての Disaster Recovery System アラーム定義。
GenericAlarmCatalog	すべてのアプリケーションが共有する、すべての汎用アラーム定義。
JavaApplications	すべての Java アプリケーションアラーム定義。   <b>ヒント</b> アラーム設定 GUI を使用して JavaApplications アラームを設定することはできません。一般的にこれらのアラームは、イベントログに移動するために設定します。アラーム定義およびパラメータを表示または変更するには、オペレーティングシステムに付属するレジストリ エディタを使用します。
LoginAlarmCatalog	すべてのログイン関連アラーム定義。
LpmTctCatalog	すべてのログパーティション モニタリングおよびトレース収集アラーム定義。
RTMTAlarmCatalog	すべての Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool アラーム定義。
SystemAccessCatalog	SystemAccess がすべてのスレッド統計カウンタとすべてのプロセス統計カウンタを提供するかどうかの追跡に使用される、すべてのアラーム定義。
ServiceManagerAlarmCatalogs	サービスのアクティブ化、非アクティブ化、起動、再起動、および停止に関連した、すべてのサービス マネージャ アラーム定義。
TFTPAlarmCatalog	すべての Cisco TFTP アラーム定義。
TestAlarmCatalog	コマンドライン インターフェイス (CLI) から SNMP トラップを使用してテストアラームを送信するために使用される、すべてのアラーム定義。CLI の詳細については、『Cisco Unified Communications Operating System アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

### 追加情報

P.5-4 の「関連項目」を参照してください。

## 関連項目

- [アラームについて \(P.3-1\)](#)
- [アラーム定義の表示、およびユーザ定義記述の追加 \(P.5-2\)](#)
- [システム アラーム カタログの説明 \(P.5-3\)](#)